

2025 年度

(岩谷堂放課後児童クラブ) 自己評価総括表

地域社会における放課後児童健全育成事業として、その事業運営や育成内容について、自らの育成の実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や育成における実践の改善に努め、より一層質の高い育成の実践を目指してまいります。

評価方法		
全職員の自己評価	評価期間	2026年1月20日(火)～1月30日(金)
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
施設の評価	評価日	2026年2月26日(木)
	実施方法	話し合いにより職員全体で共有しながら施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
総則	職員研修等での読み合わせを通して、「放課後児童クラブ運営指針」における指針策定の趣旨および放課後児童クラブの育成基本、また当社の育成支援理念の理解に努め、支援の現場に活かせるよう努めた。
職員の資質向上	放課後児童クラブの社会的責任や役割を理解し、委託事業として法令を守るだけでなく、社会的規範に則り、道徳的・倫理的に正しく行動するため、職員自らがスキルアップできるよう意識付けを図り、より良い環境づくりに努めていく必要がある。
事業の対象となる子どもの発達	学年に応じた子どもの発達の特徴を理解し、その発達段階に応じた職員の対応の在り方を日々チェックし、より良い支援に結び付けられるよう毎日のミーティングや研修・会議等の全体の場で共有をしてきた。
放課後児童クラブにおける育成支援の内容	一人一人の子どもや保護者に寄り添い、信頼関係を築けるようお迎え時等で生活の様子を伝えてきた。また子育て支援の一環として、保護者が相談しやすい環境づくりを心掛け、子どもの健全育成に繋がられるよう努めてきた。
学校及び地域との関係	学校や地域の関係機関と定期的に連携を取り、子どもの情報共有を図りながら、日々の育成支援に繋げることができた。
施設及び設備、衛生管理及び安全対策	各種研修や避難訓練等の実施、各種チェックシートを用いて、日常の危機管理・衛生管理を適切に実施できるようにしている。
放課後児童クラブの運営	自治体実施要綱および設備運営基準に則った健全な拠点運営ができるよう、本社・支部と協力し、連携を取りながら管理を行っている。

総評
<p>「ありのまま育つ、いきいき遊ぶ、わくわく過ごす」の3つの育成支援方針を意識した支援を行ったことで、子どもたちが主体的にいきいきと活動している姿が多く見られた。課題が発生した際は、その都度子どもへ聞き取りや話し合いの場を設けて問題解決にあたり、日々の保育記録をもとにミーティング等で職員へ情報共有をして次に活かしてきた。</p> <p>次年度は、個々の発達段階や実情に応じたより良い支援の在り方を学び、一人ひとりの職員が自信を持って支援にできるように努めていきたい。また、保護者や学校との連携を一層大切にし、子育て支援の場としての児童クラブの役割に自信と誇りを持てるよう働きかけていきたい。</p>